

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会
(平成26年度第4回)議事概要

1. 日 時 平成27年3月6日(金) 16:30~18:00

2. 場 所 九段第3合同庁舎 15階 会議室

3. 出席者

[委員長]

石田 東生 (筑波大学大学院システム情報工学研究科教授)

[委員]

石渡 恒夫 (社団法人 神奈川経済同友会代表幹事)

桑野 玲子 (東京大学生産技術研究所
都市基盤安全工学国際研究センター教授)

小濱 哲 (横浜商科大学貿易・観光学科教授)

牧野 昌子 (特定非営利活動法人
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ代表理事)

味水 佑毅 (高崎経済大学地域政策学部観光政策学科准教授)

[関東地方整備局]

道路部長 後藤 貞二

道路企画官 山田 哲也

宇都宮国道事務所長 戸倉 健司

常陸河川国道事務所長 水島 徹治

4. 議 事

(1) 挨拶

・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

平成27年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

・ 新規事業候補箇所の選定の考え方

・ 新規事業候補箇所説明資料

国道4号 矢板拡幅

国道6号 勿来バイパス

<委員からの主な意見等>

■ 一般国道4号矢板拡幅

・ 新規事業化について了承。

・ 都市計画が古いところもあるが、地域の方々と使い方についてコミュニケーションし、よりよい道路整備を進めることが必要。

・ 整備期間(概ね10年)については、工程の工夫等により少しでも早く効果発現を図るべき。

■ 一般国道 6 号 勿来バイパス

- ・ 新規事業化について了承。
- ・ 課題や整備効果が災害リスクや震災復興に偏っている。日常から渋滞し、地域住民に影響がでている現状についても記載すべき。
- ・ バイパス整備後、現道の利用の仕方が変化するものと考えられ、地域とともに現道をどう活用していくかを考えることが必要。
- ・ 国道 6 号に戻るための道路の構造について、将来的にもそのままが良いのか考えておくこと。

以 上